

# 「南九州西回り自動車道完成後の地域経済界に対する影響調査」結果報告書

水俣商工会議所

## －調査の目的－

南九州西回り自動車道完成後に想定される交通状況の変化に対し、当所会員の意見を集約したうえで、地域経済界全体にとってプラスとなるよう、今後における当所の対応策検討を進めるため。

## －調査期間－

令和6年4月25日より令和6年7月1日

## －調査対象－

水俣市内に本店・支店・営業所が所在する、当所会員764事業所

## －回答率－

約34.9% ※267件から回答 ※オンライン回答割合45.7%、紙回答割合54.3%

## －総括(概要)－

本調査の結果、南九州西回り自動車道完成に関する現状の水俣市内事業者の傾向を、以下項目のとおり整理することができる。

### 各業種間で影響判断分かれる

- ・好影響判断4業種、悪影響判断10業種（全14業種）
- ・選択される上位項目も異なる結果に
- ・全業種ベースでは、好影響判断32.1%、悪影響判断54.5%

### 国道3号沿線以外立地事業所の関心薄い

- ・アンケート項目「事業に与える影響」⇒「何も変わらない」85%

### 西回り道完成後の対策遅れる

- ・対策未定79%（予定なし54.7%＋検討予定24.3%）
- ・小規模事業者の中長期的課題に対応する体力的な問題が、西回り道完成後の対策遅れの誘因に（従業員9名以下73.8%）
- ・経営者の年齢層の高さが、西回り道完成後の対策遅れの誘因に（50代以上71.2%）

### 想定以上の人材流出に対する懸念

- ・悪影響判断項目の中で2番目の高さ

今後は、上記項目をはじめとする本アンケートで得られた結果に対し、新たに設置した特別委員会「西回り道対応策特別検討委員会」を中心に、外部組織（水俣市等の行政組織や民間団体等）と連動を図りながら、対応策検討・推進を図る。

## 目次

○アンケート調査項目 ※イメージ	P. 1~3
1. アンケート回答者の属性について	
(1) 年齢、(2) 事業規模(従業員数・役員数)、(3) 業種、(4) 営業地立地	P. 4
2. 西回り道完成後に懸念される影響に対する認識	P. 5
3. 西回り道完成が自身の事業に与える影響について	
(1) 全業種における状況	P. 6
(2) 業種別状況	P. 7
(3) 「何も変わらない」回答者の傾向	P. 8
4. 西回り道完成後に想定される変化への対策について	
(1) 概要	P. 9
(2) 「すでに対策実行中」「現在対策検討中」自由記述内容について	P. 10
(3) 「対策する予定はない」回答者の傾向	P. 11
5. 行政に期待する支援内容について	
(1) 概要	P. 12
(2) 「その他」自由記述内容について	P. 13
6. 行政に期待する支援内容について	
(1) 概要	P. 14
(2) 「その他」自由記述内容について	P. 15
7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと(自由記述)	P. 16~22

○アンケート調査項目（1枚目）

南九州西回り自動車道完成後の地域経済界に対する影響調査（アンケート調査）

≪1/3ページ目≫

水俣商工会議所

本アンケートでご回答いただいた内容につきましては、統計的な整理とご回答いただいた内容の整理を行い、西回り道完成後における当所の対応策検討のための資料として活用させていただきます。個別の情報の取扱いにつきましては管理を徹底いたします。また、本アンケートは代表者の方の意向を確認することを目的とするため、基本的に事業を代表する立場にある方にご回答いただきますよう、お願いいたします。

- ※該当項目に☑を、該当する記入欄へのご記入をお願いいたします。
- ※水俣市内にある本店・支店・営業所単位のご回答をお願いいたします。
- ※本文内では「南九州西回り自動車道」を「西回り道」で表記します。
- ※本文内の「西回り道完成後に想定される影響」とは、国道3号交通量70%減と、ストロー化現象による都市部への消費購買力流出の加速化などの影響等を指します。

【ご回答いただく事業所名（任意）】

\_\_\_\_\_

Q1. ご回答いただく方の年齢について

- 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

Q2. 従業員・役員数について ※代表者の方は除きます。※パート・アルバイトの方を含みます。

- 0名 1~9名 10~19名 20~49名 50~99名 100名以上

Q3. 業種について【主たる業種をご選択ください。】

- 小売業 飲食業 製造業 運輸・郵便業 医療・福祉  
卸売業 宿泊業 建設業 金融・保険業 不動産・物品賃貸業  
生活関連サービス・娯楽

理美容、エステ、クリーニング、コインランドリー、冠婚葬祭、写真（プリント・現像・現像取次）、ペット美容室、マリーナ、パチンコ、遊漁船、カラオケボックス、ダイビングサービス、ほか

学術研究・専門・技術サービス

法律事務所、司法書士、行政書士、土地家屋調査士、税理士、社会保険労務士、デザイン、獣医、建築設計、測量、写真（撮影→プリント・現像）、電気保安管理士、ほか

その他

—記入欄—

Q4. 営業地の立地について

- 国道3号沿線 国道3号沿線以外

Q5. 西回り道完成後に想定される影響について

- 認識していた、知っていた 認識していなかった、知らなかった

○アンケート調査項目（2枚目）

南九州西回り自動車道完成後の地域経済界に対する影響調査（アンケート調査）

《2/3ページ目》

水俣商工会議所

Q6. 西回り道完成後の想定される変化が、ご自身の事業に対して、どのようなことをもたらすとお考えですか？【複数選択可】

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 営業エリア・商圈拡大の機会につながる       | <input type="checkbox"/> 交通量減少により売上が低下するおそれがある            |
| <input type="checkbox"/> 時間や移動距離の短縮で、コスト削減が見込まれる  | <input type="checkbox"/> 人材流出が加速するおそれがある                  |
| <input type="checkbox"/> 交流人口・流入人口の増加による好影響が見込まれる | <input type="checkbox"/> ストロー化現象により他地域へ消費購買力流出が加速化する懸念がある |
| <input type="checkbox"/> 何も変わらない                  | <input type="checkbox"/> その他                              |

—記入欄—「その他」をご選択の場合

Q7. 西回り道完成後の想定される変化に対し、対策はありますか？

すでに対策を実行中

どのような対策を  
実行されていますか？

—記入欄—

現在、対策を検討中

どのような対策を  
検討されていますか？

—記入欄—

今後、対策を検討する予定

対策する予定はない

○アンケート調査項目（3枚目）

南九州西回り自動車道完成後の地域経済界に対する影響調査（アンケート調査）

《3/3ページ目》

水俣商工会議所

Q 8. 行政に期待する支援内容について【複数選択可】

意見交換会の実施 新たな事業展開を行うための支援制度創設

流動人口・交流人口を増加させる取組の検討・推進

人口減少に対し、歯止めをかける取組の検討・推進

その他

〔 -記入欄- 「その他」を選択の場合〕

Q 9. 水俣商工会議所に期待する支援内容について【複数選択可】

相談窓口の設置 各種専門家を交えた今後のビジネスプランの再構築支援

新たな事業展開を見据えたビジネスマッチング機会の提供

意見交換会・勉強会の開催 水俣市に対する提言・要望

他地域事例の把握・視察 その他

〔 -記入欄- 「その他」を選択の場合〕

Q 10. 西回り道完成後の効果を得るためにどのようなことが必要とお考えですか？

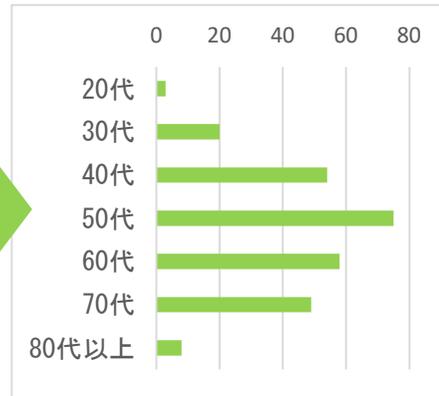
地域経済界全体について、ご自身の事業の範囲について、いずれでも結構ですのご記入をお願いいたします。【自由記述】

以上で終了です。アンケート調査へのご協力、大変ありがとうございました。

# 1. アンケート回答者の属性について

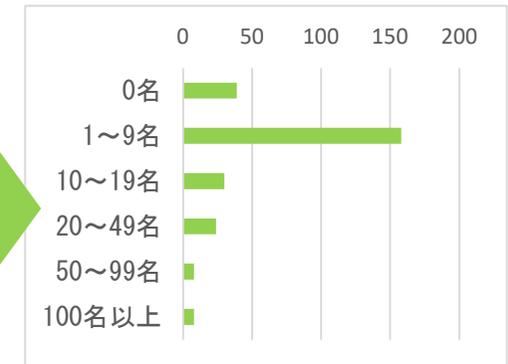
## (1) 年齢

年齢	回答数 (割合)
20代	3 (1.1%)
30代	20 (7.5%)
40代	54 (20.2%)
50代	75 (28.1%)
60代	58 (21.7%)
70代	49 (18.4%)
80代以上	8 (3.0%)



## (2) 事業規模 (従業員数・役員数)

従業員 役員数	回答数 (割合)
0名	39 (14.6%)
1~9名	158 (59.2%)
10~19名	30 (11.2%)
20~49名	24 (9.0%)
50~99名	8 (3.0%)
100名以上	8 (3.0%)



## (3) 業種

業種	回答数 (割合)
小売業	42 (15.7%)
飲食業	25 (9.4%)
製造業	32 (12.0%)
運輸・郵便業	9 (3.4%)
医療・福祉	24 (9.0%)
卸売業	22 (8.2%)
宿泊業	5 (1.9%)
建設業	36 (13.5%)
金融・保険業	6 (2.2%)
不動産・物品賃貸業	15 (5.6%)
生活関連サービス・娯楽	25 (9.4%)
学術研究・専門・技術サービス	10 (3.7%)
農林漁業	5 (1.9%)
その他	11 (4.1%)



## (4) 営業地立地

立地	回答数 (割合)
国道3号沿線	64 (24.0%)
国道3号沿線以外	203 (76.0%)

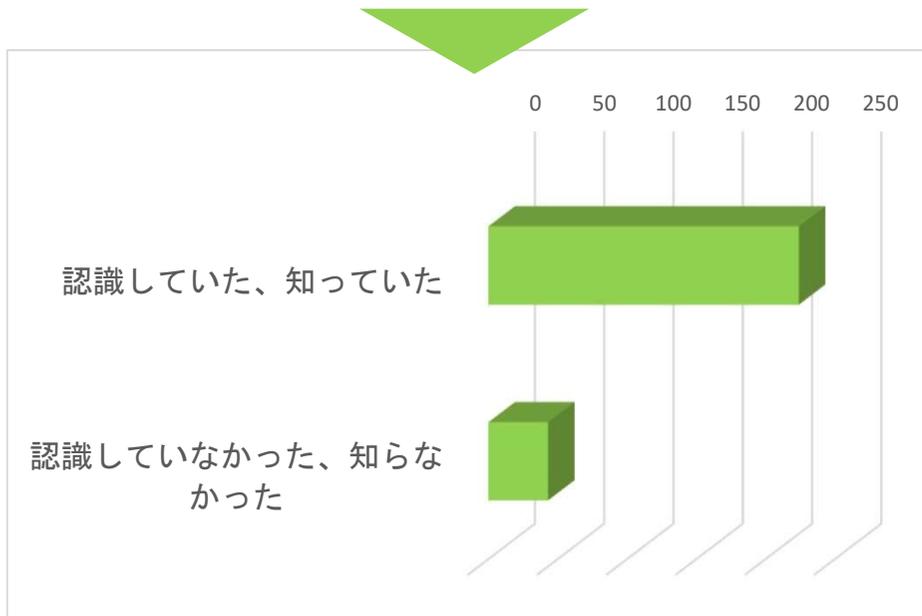


## 2. 西回り道完成後に想定される影響に対する認識

### [コメント]

当初想定に反し、「認識していた、知っていた」が「認識していなかった、知らなかった」を大きく上回る結果となった。この要因の一つとして、アンケート実施に先んじて当所会報による周知・啓発を実施していたことが考えられる。

認識	回答数（割合）
認識していた、知っていた	224 (84.0%)
認識していなかった、知らなかった	43 (16.0%)



## 水俣商工だよりVol. 166 (R6. 3. 29発行) 1面掲載記事

### 国道3号交通量70%減少?!

### どう変わる? 西回り道開通後の水俣

南九州西回り自動車道・水俣ICが平成31年3月に供用開始され、各地域間とのアクセス改善に伴い地域経済界では、観光・商業・運輸・交通など各方面において、交流人口増加やコスト削減・時間短縮等の様々な効果が得られ、今後は水俣→出水間の接続、さらには全線開通による効果が期待されます。

一方で国土交通省の資料によりますと、袋IC(仮称)供用開始以降は、国道3号の車両交通量が約70%減少すると、にわかには信じがたい予測が示され、いわゆるストローク現象による影響が懸念されます。

過去に供用開始された田浦～芦北間の実際のデータでも約60%減少という結果が示されており、おおよそ予測に近い結果となることが予想されますが、交通総量(国道3号+西回り道)となると芦北地域を通過する車両は増加に転じる結果となっており、この結果は地域経済界としてはチャンスとして捉えることもできます。

当所といたしましては、まずはこの情報を会員の皆様へ急ぎお伝えするとともに会員の皆様の意見をお伺いし、次のステップとして水俣市等と共同し、地域経済団体としての対応を進めてまいります。

#### 国道3号の交通量の変化

現況(H27) 19,230台/日



約70%減少

完成後(H42) 5,300台/日



※現況:全国道路・街路交通情勢調査(H27) 完成後:将来交通量推計値

#### 想定される地域経済界のメリット

地域を通過する  
交通総量増加  
(国道3号+西回り道)

#### 想定される地域経済界のデメリット

国道3号  
交通量大幅減

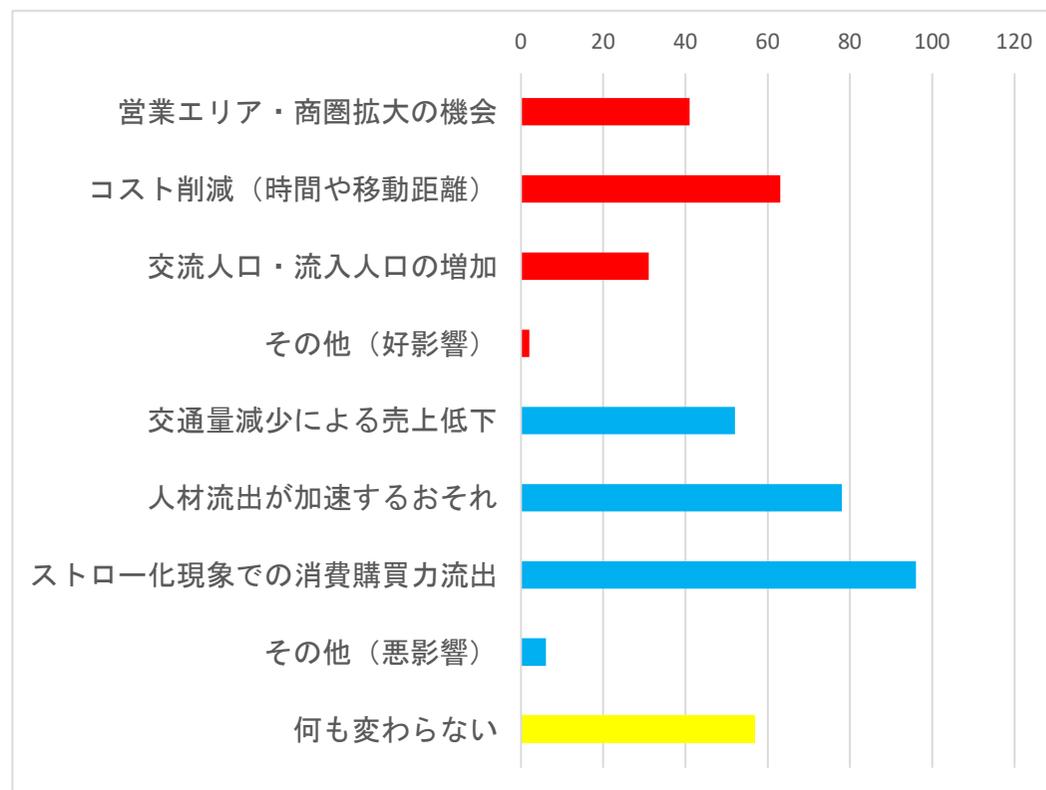
3. 西回り道完成が自身の事業に与える影響について ※複数回答可 ※「その他」は内容に応じ各項目に分類

【（１）全業種における状況】

[コメント]

回答内容を区分した場合「好影響判断」32.1%、「悪影響判断」54.5%、「何も変わらない」13.4%という結果となった。  
 各区分の中で回答内容のバラつきはあるが、「好影響判断」では「コスト削減（時間や移動距離）」が最も多く、  
 「悪影響判断」では「ストロー化現象での消費購買力流出」が最も多かったが、「人材流出が加速するおそれ」が想定以上に多い結果となった。

	回答内容	回答数	区分割合
好影響判断	営業エリア・商圈拡大の機会	41	32.1%
	コスト削減（時間や移動距離）	63	
	交流人口・流入人口の増加	31	
	その他（好影響）	2	
悪影響判断	交通量減少による売上低下	52	54.5%
	人材流出が加速するおそれ	78	
	ストロー化現象での消費購買力流出	96	
	その他（悪影響）	6	
	何も変わらない	57	13.4%



3. 西回り道完成が自身の事業に与える影響について ※複数回答可 ※「その他」は内容に応じ各項目に分類

【(2) 業種別状況】

[コメント]

各業種別に細分化すると、サンプル数は少ないながらも各々異なる結果が示される。

「好影響判断」の割合が強かった製造・卸売・宿泊・農林漁では「営業エリア・商圈拡大の機会」「コスト削減(時間や移動距離)」といった判断が多く示されている。

「悪影響判断」の割合が強かった業種では「ストロー化現象での消費購買力流出」が多く判断される中で、業種によっては「人材流出が加速するおそれ」を多く判断するケースもあった。

回答内容	小売		飲食		製造		運輸・郵便		医療・福祉		卸売		宿泊		
	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	
好影響判断	営業エリア・商圈拡大の機会	5 (7.6%)	22.7%	1 (2.9%)	22.9%	<b>10 (20.0%)</b>	48.0%	0 (0.0%)	40.0%	3 (9.1%)	27.3%	4 (10.8%)	48.6%	<b>4 (26.7%)</b>	53.3%
	コスト削減(時間や移動距離)	6 (9.1%)		3 (8.6%)		<b>10 (20.0%)</b>		4 (40.0%)		2 (6.1%)		<b>11 (29.7%)</b>		2 (13.3%)	
	交流人口・流入人口の増加	4 (6.1%)		3 (8.6%)		4 (8.0%)		0 (0.0%)		4 (12.1%)		3 (8.1%)		2 (13.3%)	
	その他(好影響)	0 (0.0%)		1 (2.9%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)	
悪影響判断	交通量減少による売上低下	9 (13.6%)	53.0%	<b>9 (25.7%)</b>	62.9%	2 (4.0%)	40.0%	0 (0.0%)	50.0%	3 (9.1%)	66.7%	5 (13.5%)	43.2%	2 (13.3%)	46.7%
	人材流出が加速するおそれ	9 (13.6%)		4 (11.4%)		<b>9 (18.0%)</b>		<b>3 (30.0%)</b>		<b>12 (36.4%)</b>		5 (13.5%)		2 (13.3%)	
	ストロー化現象での消費購買力流出	<b>17 (25.8%)</b>		<b>9 (25.7%)</b>		9 (18.0%)		2 (20.0%)		7 (21.2%)		6 (16.2%)		2 (13.3%)	
	その他(悪影響)	0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		1 (6.7%)	
何も変わらない	16 (24.2%)	24.2%	5 (14.3%)	14.3%	6 (12.0%)	12.0%	1 (10.0%)	10.0%	2 (6.1%)	6.1%	3 (8.1%)	8.1%	0 (0.0%)	0.0%	

回答内容	建設		金融・保険		不動産・物品賃貸		生活サービス・娯楽		学研・専門・技術サービス		農林漁		その他		
	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	回答数(割合)	区分割合	
好影響判断	営業エリア・商圈拡大の機会	5 (7.2%)	31.9%	0 (0.0%)	9.1%	1 (4.2%)	25.0%	4 (12.5%)	21.9%	0 (0.0%)	20.0%	<b>2 (25.0%)</b>	62.5%	2 (9.5%)	33.3%
	コスト削減(時間や移動距離)	14 (20.3%)		1 (9.1%)		3 (12.5%)		0 (0.0%)		3 (20.0%)		<b>2 (25.0%)</b>		2 (9.5%)	
	交流人口・流入人口の増加	3 (4.3%)		0 (0.0%)		2 (8.3%)		3 (9.4%)		0 (0.0%)		1 (12.5%)		2 (9.5%)	
	その他(好影響)	0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		1 (4.8%)	
悪影響判断	交通量減少による売上低下	7 (10.1%)	56.5%	1 (9.1%)	72.7%	5 (20.8%)	66.7%	3 (9.4%)	53.1%	2 (13.3%)	73.3%	0 (0.0%)	25.0%	<b>4 (19.0%)</b>	57.1%
	人材流出が加速するおそれ	<b>16 (23.2%)</b>		2 (18.2%)		5 (20.8%)		6 (18.8%)		3 (20.0%)		1 (12.5%)		1 (4.8%)	
	ストロー化現象での消費購買力流出	<b>16 (23.2%)</b>		<b>5 (45.5%)</b>		<b>6 (25.0%)</b>		<b>8 (25.0%)</b>		<b>4 (26.7%)</b>		1 (12.5%)		<b>4 (19.0%)</b>	
	その他(悪影響)	0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		0 (0.0%)		2 (13.3%)		0 (0.0%)		3 (14.3%)	
何も変わらない	8 (11.6%)	11.6%	2 (18.2%)	18.2%	2 (8.3%)	8.3%	8 (25.0%)	25.0%	1 (6.7%)	6.7%	1 (12.5%)	12.5%	2 (9.5%)	9.5%	

### 3. 西回り道完成が自身の事業に与える影響について

#### 【(3) 「何も変わらない」回答者の傾向】

##### [コメント]

「何も変わらない」の選択割合は、想定よりかなり大きい結果となった。  
その選択の根拠については様々な要因が考えられるが、本調査では選択の傾向について、「1. アンケート回答者の属性について」の4項目別（年齢、事業規模、業種、営業地立地）に内容を検討。  
その結果、営業地立地について一定の差分があることが確認できた。（他の3項目については、微小な範囲に収まった。）  
具体的には、国道3号沿線以外の事業者が「何も変わらない」を選択する比率が高くなる傾向が確認できた。  
また、自由記述意見の中には「インターから遠いので何も変わらない」という意見もあった。  
詳細については、以下のとおり。

対象となる比率の範囲	営業地立地別比率	
	国道3号沿線	国道3号沿線以外
「何も変わらない」選択事業所	15%	85%
アンケート全体	24%	76%

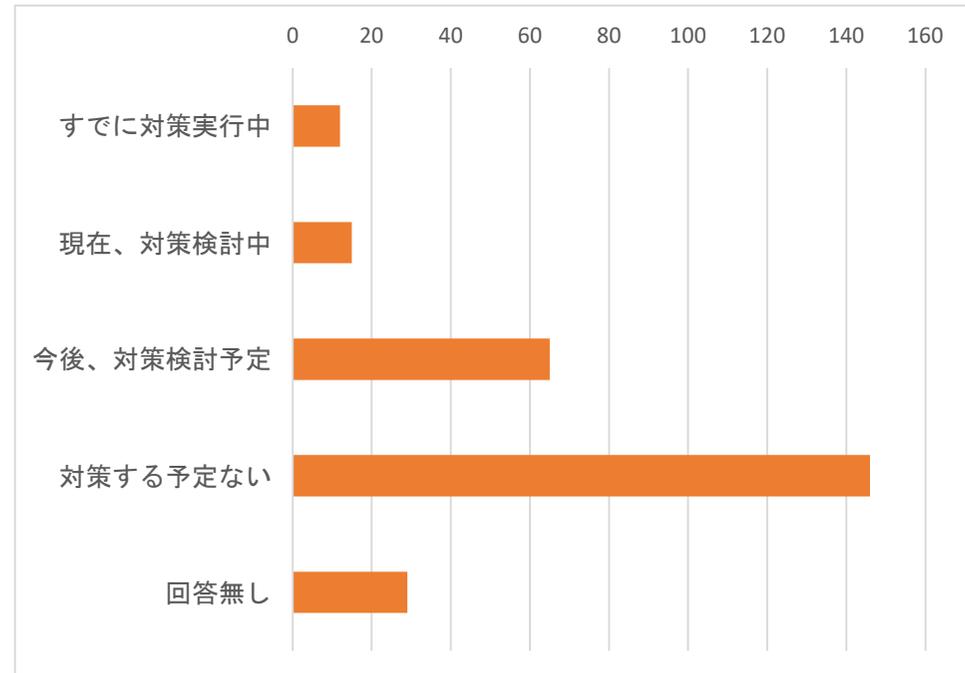
#### 4. 西回り道完成後に想定される変化への対策について

##### 【（１）概要】

##### [コメント]

約84%が、西回り道完成後に想定される影響について認識しているにもかかわらず、半数超えの回答が「対策する予定はない」という結果となった。

回答内容	回答数（割合）
すでに対策実行中	12（4.5%）
現在、対策検討中	15（5.6%）
今後、対策検討予定	65（24.3%）
対策する予定ない	146（54.7%）
回答無し	29（10.9%）



#### 4. 西回り道完成後に想定される変化への対策について

##### 【(2) 「すでに対策実行中」「現在対策検討中」自由記述内容について】

###### 「すでに対策を実行中」

- ECサイトの活用。目的地として選択されるべく自店の魅力充実。 ○設備改修（Wi-Fi環境、トイレ等）
- 商圈広域化の可能性があるため、SNSを活用したりチラシ配布を実行、検討している。
- 新たに誕生した女子サッカーチームを支援。（選手の受け入れ、監督との顧問契約など）交流人口・流入人口増加の好影響をもたらすために活動している。
- 今現在芦北は7店舗に定期配送しているが、出水は8店舗、阿久根が2店舗今現在買いに来てもらっている。  
定期配送ができるようにもっと増える可能性は秘めているので、SNSを活用したりチラシ配布を実行、検討している。
- 別な仕事を行う。一人ですべての仕事を行っている。
- 市場拡大。 ○SNSの活用。 ○パンフレットに西回り自動車道をPRする。
- 新事業テスト中。 ○インターの近くに移転。

###### 「現在対策検討中」

- 都市圏、海外への商品売り込み。 ○同業者の他地区からの水俣への進出に対する防御。
- 現在、コロナ時期に比べ客数は増加しているが、西回り道完成後は、他地域への流出が考えられる。  
今、現状来て下さるお客様の満足度向上、お客様が来たいと思う店づくり・イベント等の実施。
- 当地の移動利便性向上により、定住の優位性を発信、PR。人口流出を抑え、移住が増えるように働きかける。
- 何をしたいか分からない。 ○インバウンド。 ○廃業。
- 検討したいが特段ない、知り合いを増やすように心がける程度。
- 集客の努力は当然行うが、延伸対策で特別なことは今のところ考えていない。
- より遠方からの集客が可能になるため、交通手段の整備。
- 水俣・芦北地域以外への販路の確保。ツアーバス会社との連携強化。市内ホテルとの連携（宿泊客の立ち寄り策の実施）。  
新商品の開発。
- 水俣市周辺地域（芦北町、津奈木町、出水市、阿久根市）を含めた周遊観光ルートの作成と連携。

#### 4. 西回り道完成後の想定される変化への対策について

##### 【(3) 「対策する予定はない」回答者の傾向】

###### [コメント]

本項目では、想定より回答割合がかなり大きい結果となった「対策する予定はない」回答者の傾向について検討。これについても様々な要因が考えられるが「1. アンケート回答者の属性について」の4項目別（年齢、事業規模、業種、営業地立地）に内容を検討。

その結果、現段階においては、年齢と営業地立地について特徴的な状況が確認できた。年齢については、年齢層が一定以上を超えると「対策する予定はない」選択の比率が高くなった。営業地立地については、国道3号沿線以外の「対策する予定はない」選択の比率が高くなった。各項目、詳細については以下のとおり。

###### ○年齢

対象となる比率の範囲	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
「対策する予定はない」選択事業所	1.4%	5.5%	16.4%	28.8%	22.6%	21.2%	4.1%
アンケート全体	1.1%	7.5%	20.2%	28.1%	21.7%	18.4%	3.0%

###### ○営業地立地

対象となる比率の範囲	国道3号沿線	国道3号沿線以外
「対策する予定はない」選択事業所	17.1%	82.9%
アンケート全体	24.0%	76.0%

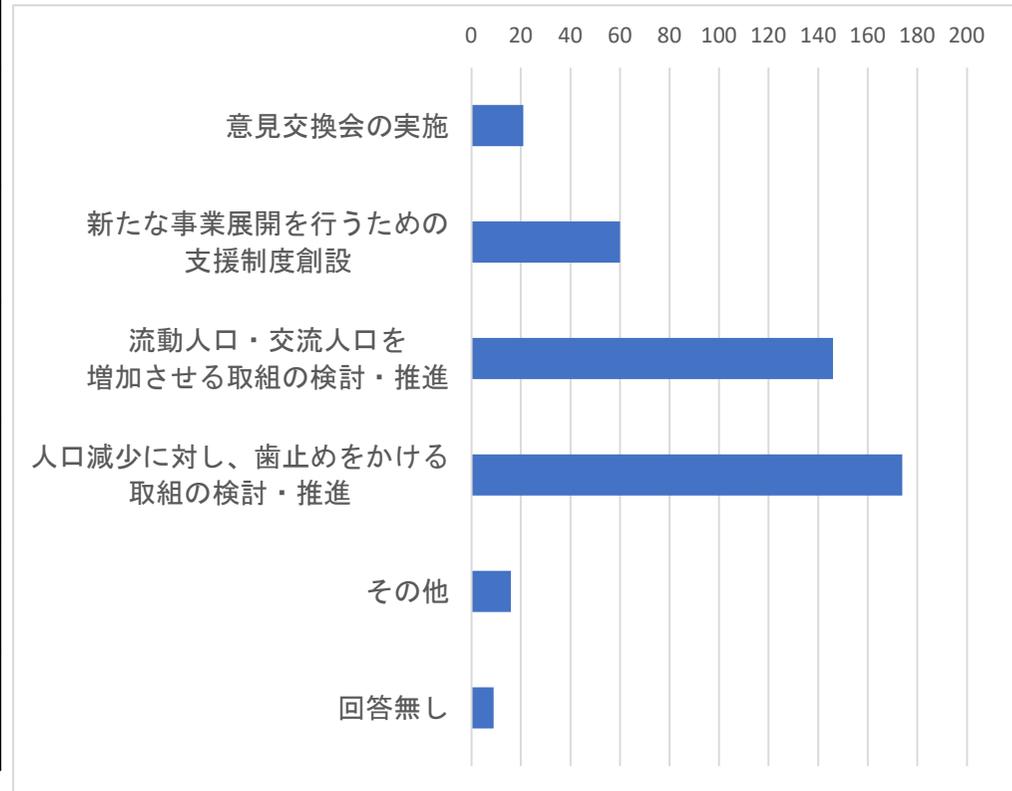
5. 行政に期待する支援内容について ※複数回答可

【（１）概要】

[コメント]

人口減少対策、次いで流動人口・交流人口対策、これら２点に関する選択が多い。

回答内容	回答数（割合）
意見交換会の実施	21 (4.9%)
新たな事業展開を行うための支援制度創設	60 (14.1%)
流動人口・交流人口を増加させる取組の検討・推進	146 (34.3%)
人口減少に対し、歯止めをかける取組の検討・推進	174 (40.8%)
その他	16 (3.8%)
回答無し	9 (2.1%)



## 5. 行政に期待する支援内容について

### 【(2) 「その他」自由記述内容について】

- 熊本・八代方面及び鹿児島方面への移動・通勤通学における利便性の向上を内外に発信・PRすることにより、人口流出を抑えるとともに移住の促進を図ること。そのために、住条件の整備、子育て・教育環境の整備などを本気で進めて欲しい。水俣から市外への通勤手当や通学手当の拡充、市内居住者への手当の拡充など、市外居住者の市内への通勤・通学や住居手当ではなく、市内に居住するための条件・環境整備を積極的に実現してほしい。
- 今後の西回り道の当地域への影響を、個々のレベルにおいても、行政側も経済界側も他人事と考えるべきでない。
- 既存事業（地域のお買い物支援事業等）を強化するための支援制度の創設。
- 地域通貨を使い時限を設け地域内需を喚起し、ベーシックインカムを併用し、真に持続可能な地域に根ざした流通、金融のあり方を模索し、弱者に優しいそしてやる気あるものにもやりがいある新しい資本主義の形をこの町から日本へそして世界に未来に向け形づくる。
- 行政が行うのではなく、市民と産業が考えて行政がお金を出す。（補助金はいっぱいあるが、使われていない。）
- 奨学金制度の新設。（地元への帰還就職者へ対し）
- 人口減少に対し歯止めをかける取組および交流人口増加策の検討・推進
- エコパーク水俣バラ園有料化。（入園料200円、駐車料300円）
- 水俣に沢山あるのは荒れた畑と空家。他に資源は無いのでは？
- 年金受給者を受け入れて、その子供や孫など遊びに来る環境を作ってみたらいいのでは。
- 市営住宅を町の中心辺りに造り、安い価格で提供できるようにする。（例：2～3万円程度）
- 適切な表現方法ではないと思いますが、「失敗学の本質」を見習うという意味で、芦北町・阿久根市等の関係者（役場・市役所）に聞き取りを行ってみる。
- 空き部屋が目立った団地が多いので、そこを利用してほしい。
- 水俣市はソフト面はあるがハード面が弱い。スポーツの実業団を呼んでも貸切バスの駐車場が無い。20～30台とかになったら駐車場が無いので考えてもらいたい。市の体育館の有効な使い方を市が考えてもらいたい。
- 若者の地元在住に対する施策・支援（水俣への帰還就職、居住等へ向けた）

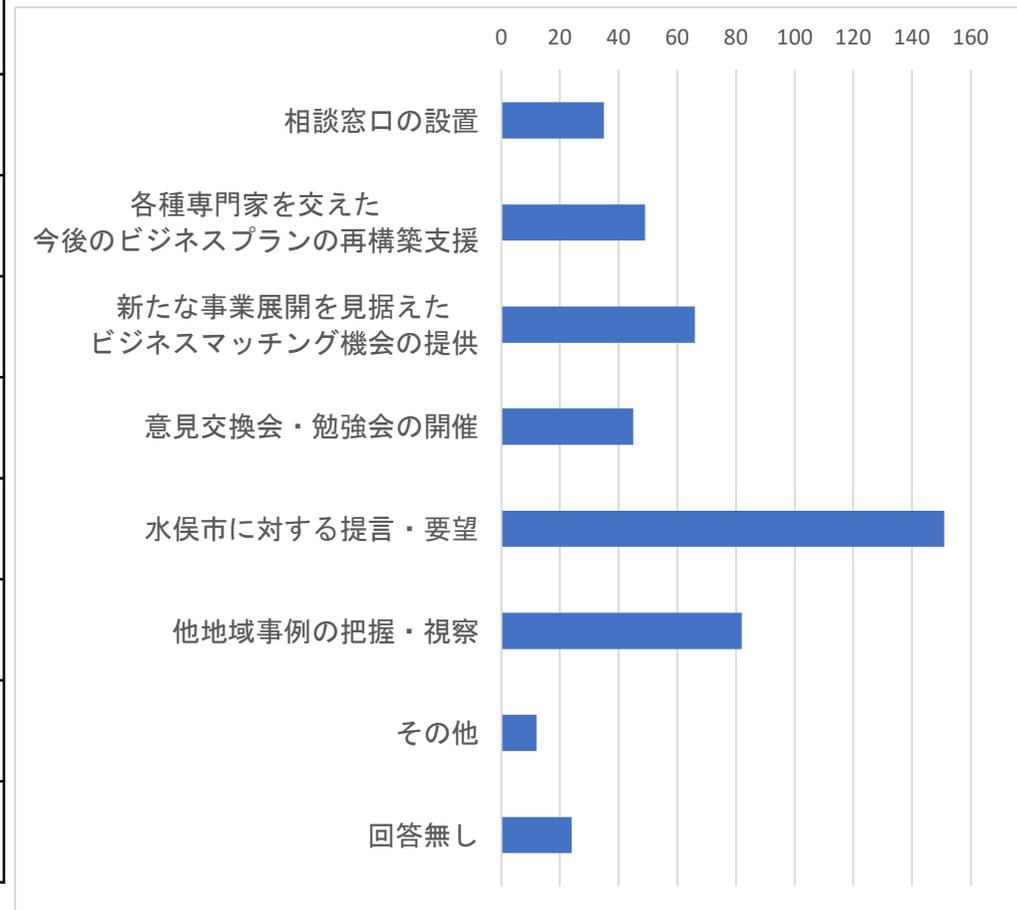
6. 水俣商工会議所に期待する支援内容について ※複数回答可

【(1) 概要】

[コメント]

市への提言・要望が突出して多いが、他の事項についても一定以上のニーズがある。

回答内容	回答数 (割合)
相談窓口の設置	35 (7.5%)
各種専門家を交えた 今後のビジネスプランの再構築支援	49 (10.6%)
新たな事業展開を見据えた ビジネスマッチング機会の提供	66 (14.2%)
意見交換会・勉強会の開催	45 (9.7%)
水俣市に対する提言・要望	151 (32.5%)
他地域事例の把握・視察	82 (17.7%)
その他	12 (2.6%)
回答無し	24 (5.2%)



## 6. 水俣商工会議所に期待する支援内容について

### 【(2) 「その他」自由記述内容について】

○水俣のために本気で取り組んでいただきたい。

○地方から出来る本当の問題解決を本質的なところから取り組んでいただきたい。もちろん観光という観点からは海を使ったレジャーをエコパーク一面を道の駅と捉え一日楽しめるエリアにさらなる魅力アップを共に模索実現へ並走願います。

○市と商工会議所が今以上に連携をとり、補助金等でもっと事業者・お客様に有益な事業を行ってほしい。

○業態により諸事情が違うので、それぞれの業種ごとの対応と、情報・知恵等について商工会議所より援助いただきたい。

○他自治体・他地域に対し、水俣のPRを積極的におこなって欲しい

○あまり期待していない。そもそも西回りは商工会議所が進めていたから。

○若い人が楽しめる娯楽が少ないので、その点に対する検討を進めてほしい。

○「水俣市に対する提言・要望」の内容

➡あるものを活用して外貨（水俣市外）をつくり雇用をつくれるようエコパークの新たな活用方法

## 7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと① ※自由記述

- 流入人口の減少が予想される為、地域や事業の活性化が必要。(30代、その他事業、国道3号沿線)
- 水俣を素通りさせないため、より一層の魅力づくりと情報発信が必要だと思う。自店としては少なからず影響を受けることが考えられ、これまで以上に顧客管理の徹底と新規獲得へ努力する。(50代、小売業、国道3号沿線以外)
- 信頼される商品の提供及び SNS での地道な発信でしょうか？(50代、卸売業、国道3号沿線以外)
- 社会福祉法人に課せられている地域貢献活動と、地場産業や企業とタイアップした活動が地域活性につながるものできないものか双方が顔を併せる機会があれば良いと思います。(40代、医療・福祉、国道3号沿線以外)
- 未利用宅地の格安販売によって周辺地域からの人口流入を誘う、子育て世代への手厚い助成により他市町村との差別化など。(50代、建設業、国道3号沿線以外)
- 早く熊本県南・北薩の流通促進が盛んになることを望む。(60代、不動産・物品賃貸業、国道3号沿線以外)
- 経済や事業という範囲に限らず、自治体存続のために本気で人口減を食い止める契機にしなければならない。まず、人口！住んで通勤・通学。小中学校の存続を本気で考えること。子育て世代の流入と出生数の増を実現することしか生き残る道は無い。水俣の強みは医療と福祉分野。ここに子育て、教育を加えて「生きやすい街」として生まれ変わること。(60代、医療・福祉、国道3号沿線)
- 経済政策の道筋を一本化し集中させる。(50代、建設業、国道3号沿線)
- とにかく人口流出を防ぎ、若い人材を地元の仕事へと斡旋と同時に新しい企業ビジネスを受け入れて少しでも街を活性化させていくしかないと思います。(30代、金融・保険業、国道3号沿線以外)
- 国道3号の交通量減少は避けられないと考えます。地元企業においては事業範囲の拡大、販売方法の見直し、観光資源および地域特産物の開発が必要になると思います。(50代、建設業、国道3号沿線以外)
- 弊社の営業活動エリアが市外なのでわかりませんが、8年前に創業して、市内や近隣に仕事が無かったので今は福岡をメインに九州各県に行っています。仕事がないなら仕事があるところに行けばいいと思います。移住しなくても、高速や新幹線等のインフラが整ってるなら2~3時間あれば福岡に着きます。その為に高速を使えばいいと思います。店舗型の小売業ではないので、高速に関して悲観した考えはあまりないです。(30代、生活関連サービス・娯楽、国道3号沿線以外)
- 水俣市民においては国道3号線が生活道路に変わり、渋滞が解消される。早期の開通を望みます。(50代、製造業、国道3号沿線以外)
- 若い方がわざわざ水俣に集まれるような所があると良い。(50代、医療・福祉、国道3号沿線)

## 7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと② ※自由記述

- 高速が完成したら、市内の飲食店の客数の減少、道の駅みなまたの来客数の減少、などが考えられる。その場合は津奈木IC迄開通して、道の駅芦北「でこぼん」の売上がどうなったのかわからないが、道の駅みなまたはインターから離れているので来客数が、少なくなると考えられる。道の駅芦北「でこぼん」は、インターに隣接しているのでトイレ休憩などに便利。一方北薩出水市では、米ノ津付近に道の駅を、つくるという話を聞いている。水俣も、もっと早くに手を打つべきでは、ないのでしょうか？（30代、卸売業、国道3号沿線以外）
- 通勤時間短縮による周辺地域からの雇用確保。（40代、製造業、国道3号沿線以外）
- なるべく水俣でも降りてもらえるよう、地域の魅力を今まで以上に外部にアピールする必要があると思います。また、環境モデル都市であることを活かし、環境に特化した企業の誘致、優遇を積極的に行うことをしてもいいのではと思います。（廃校に入ってもらするなど、今の水俣にある財産を活かして）（20代、卸売業、国道3号沿線）
- 水俣に足を止めてもらうための施策を官民連携で作る必要があると考えます。SNS等での水俣の観光業界のPRをさらに強化し、飲食業界や観光業界が連携し人を呼び込む仕組みづくりが必要と考えます。（30代、金融・保険業、国道3号沿線）
- 水俣地域に来てもらう為の観光等コンテンツの充実。（40代、宿泊業、国道3号沿線以外）
- 地域全体で西回り道完成後考え得る効果（プラスもマイナスも）を把握する必要があると考える。周辺域（熊本県南、北薩）の事業所等と連携を強め、人の呼び込み、滞在時間延長できるよう多様なアプローチをかけていきたい。（30代、その他事業、国道3号沿線）
- 単純に、①人口減少の歯止めと人口増加への対策、②企業誘致による税金収入増加と人口増加対策、③空き家の有効活用による人口増加対策（40代、飲食業、国道3号沿線以外）
- 当社においては、ほとんどの部門が水俣市外（熊本県内全域、熊本県外）にて商売しているので、西回り道完成の悪影響はほとんどなく、かえって鹿児島地区への営業がよりしやすくなると思っている。（70代、卸売業、国道3号沿線以外）
- 政・官・民でがっちりスクラムを組む。（40代、その他事業、国道3号沿線以外）
- 水俣が目的地になるように魅力をアップさせアピールしていくしかないと思う。高速の料金を少しでもとってもらえると、国道も走るようになると思う。（60代、宿泊業、国道3号沿線以外）
- あらゆる地域から、親しまれるような、また来たくなるような、水俣をみんなで協力し、考え、創り上げていくことが、必要だと思います。（40代、建設業、国道3号沿線以外）

7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと③ ※自由記述

- インバウンド。(50代、小売業、国道3号沿線以外)
- 率先して若い人が遊びにこれる場所の提供。(40代、医療・福祉、国道3号沿線)
- 水俣商業圏内に多くの方々に来てもらえるような 魅力ある事業・施設・イベント等を考えて実行していく必要があると思いますが？(60代、建設業、国道3号沿線)
- 水俣市に集客できるイベント、観光施設等が必要。商業施設等は不可能だと感じる為。(30代、飲食業、国道3号沿線)
- 資本の誘致。(40代、製造業、国道3号沿線以外)
- 港湾、道路を整備して産業を興す必要がある。(40代、その他事業、国道3号沿線以外)
- 鹿児島県側からの集客、エコパーク利用の宿泊事業。(60代、医療・福祉、国道3号沿線以外)
- 住んでる私達が元気でイキイキ生活して、市外の方達が行ってみたいと思う街作りを望みます。(50代、生活関連サービス・娯楽、国道3号沿線以外)
- 国道3号線の渋滞緩和、信号の数を減らし最高速度50km/hにする。エコパークまでの魅力ある道並み(60代、飲食業、国道3号沿線以外)
- 難題ですが、流動人口増加が期待できる観光資源の充実やイベントの実施、各事業所の努力。(50代、卸売業、国道3号沿線以外)
- 目的地が水俣となるような魅力的な事業、サービスの確立。(40代、農林漁業、国道3号沿線以外)

- 水俣IC付近に看板や施設を設置することで、情報発信や機能集積を進めるべき。(50代、建設業、国道3号沿線以外)
- 観光地としての魅力を増やす必要がある。住民へは便利な町として思ってもらえる必要がある。観光では魅力を感じる取り組みをしているようには思えないし、市の活動も不十分。たださえ市外への買い物が増え、便利な方へ行く。事業所としても水俣周辺だけではなく範囲を拡げ都市部から学びレベルを上げ、町に落とし込む必要があると思う。(30代、製造業、国道3号沿線以外)
- 水俣市の魅力を向上して行く事が先決。交通アクセスが悪くても魅力的な地域には人は集まってくる(60代、医療・福祉、国道3号沿線以外)
- 複数の商業施設が共同で使用できる大規模な駐車場、ビジネスホテルやゲストハウスなどの観光目的以外に使える宿泊施設、長期滞在型に主眼を置いた観光地への脱皮。(40代、農林漁業、国道3号沿線以外)
- 地場での生活関連サービスは、人口減少が一番のダメージにつながります。物流の効率が上がるのであれば、企業誘致を積極的にお願ひし、熊本県も県南地区専門対策室を作って取り組んでほしい。(50代、生活関連サービス・娯楽、国道3号沿線)
- クレジット決済キャッシュバックCP(50代、小売業、国道3号沿線)

## 7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと④ ※自由記述

- 交通の便もよくなるが、行政の範囲も広くなり対応が複雑化する。やはり交通の便を生かすには企業誘致が必要であり、水俣市には早急な土地開発・インフラ整備をお願いしたい。(50代、学術研究・専門・技術サービス、国道3号沿線以外)
- 水俣IC、袋IC周辺の宅地や平地の整備が必要。会社や工場、物流ターミナルやイベントが出来るグラウンドなどいずれかのインターに降りる必要がある何かを用意しないとイケない。現状はどちらも山しか無いので。(40代、卸売業、国道3号沿線以外)
- 車旅行者に対して、夜間を安心して過ごせる為の、道の駅みなまたの車中泊設備を整える。(50代、建設業、国道3号沿線以外)
- インバウンド強化による地域活性化。(60代、製造業、国道3号沿線以外)
- 地域の特産物や観光をアピールして水俣地域を魅力ある街として認識してもらいたい。(50代、建設業、国道3号沿線以外)
- 皆さんが魅力ある水俣に興味を持つようなシンボリック的存在が必要。(テーマパークや大企業の誘致)(60代、卸売業、国道3号沿線)
- 宅地造成、地価、家賃を下げる。(30代、卸売業、国道3号沿線)
- 水俣市から流通発信する事業の展開。(60代、製造業、国道3号沿線)
- 水俣市は、自然環境・医療施設の充実・コンパクトな街づくりで、他の地域から来られる方や高齢者からも安心安全でとても暮らしやすい街との声が多い。実際に、高齢者が通院のために近隣から水俣市に引っ越してくる事例もある。暮らしやすい街づくり、高齢者も安心して暮らせる(家族も集う)モデルとなる街を目指してはどうか?美しい景色を暮らしに取り入れ、空き家も積極的に活用できる方法を考え、移住者への支援も増やす。西回り自動車道が完成すれば、水俣から近隣への通勤も可能(海を見ながらの通勤も楽しみの一つ)近隣からのベッドタウン的な街づくりに最適ではないかと思います。(40代、生活関連サービス・娯楽、国道3号沿線以外)
- 主に鹿児島(出水市)からになると思いますが、目的をもって寄りたくなる地域となるよう、観光やスポーツ等の週末イベントの開催を強化できると良いと思います。例えば、みなまたちゃんぽんやスイーツ等、食を中心としたイベントなど。若い世代の購買に期待したいです。(50代、小売業、国道3号沿線以外)
- 水俣の宝物をPRするチャンスと捉えて、一例として釜揚げシラスを道の駅みなまたで販売できるようにするなど、牡蠣も南の海でも強く養殖できる方法があるはずだと思ってます。流出は止められないので流入だけを考える商工会議所と市役所と観光物産協会になってもらいたいです。(50代、小売業、国道3号沿線以外)

## 7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと⑤ ※自由記述

- 我々の業種としての影響は、鹿児島県内からの流通のコスト低下により、資材、人員の競争が高まるため、水俣市内の業者が今までのような価格での取引が出来なくなる等、水俣市内業者の競争力の低下が予想される程度ではあるが、それ以外に地域経済全体としては、熊本県南地域の人達が、水俣を通り越して出水市等鹿児島県に行きやすくなるため、日用品や外食、業種毎の人員や資材調達等に於いて、同じく水俣市内業者の競争力低下が懸念される一方で、主に鹿児島県内から人々が水俣市を始めとした熊本県南地域に訪れやすくなる事も事実であるため、鹿児島県内には無いような水俣市を始めとした熊本県南地域独自の自然や温泉のような観光地、また、エコパークを利用したスポーツやその他ジャンルの未開拓の大規模イベント等にて県を跨いで魅力を発信し続ける事が出来れば、集客が増え、水俣市としての経済効果に繋げる事が出来るのではないかと感じる。それぞれ独立した企業毎のPRでは県外からの集客までには遠く及ばないため、市全体でこの狭い地域を敢えて利用する事も含めた、イベントを実施し、観光で訪れたい市として、季節毎のブランディングが必要では無いかと感じる。(40代、建設業、国道3号沿線以外)
- 地域の特性を生かしたイベントやスポーツ振興を含め人が集まり、立ち寄る町づくりを行う必要があると考えます。(50代、建設業、国道3号沿線以外)
- 産・官・学一体となった、魅力ある水俣の未来を創造する場が必要と考えます。(40代、製造業、国道3号沿線以外)

- 魅力ある街づくり→企業誘致、観光施設の充実、キャンプ場、ビジネスホテルなどの施設。(50代、小売業、国道3号沿線)
- 通過していただだけの車両が減って住みよい街になった、水俣市内に住んだまま(事業所をおいたまま)でもいろいろなことができる、という流れを作れるといいのかと思う。(40代、卸売業、国道3号沿線以外)
- 交通の利便性はよくなるので、他市町村、特に鹿児島県との交流。水俣でおりてもらおう工夫。魅力的な道の駅づくりなど。(50代、卸売業、国道3号沿線以外)
- 交通の便はよくなり配送効率が上がると予測しているが、実際に開通してみないと、どのようになっていくのかわからない。(50代、製造業、国道3号沿線以外)
- 水俣の特色を高める。(60代、その他事業、国道3号沿線)
- 全国的に移住者が増えていることを耳にしますが、何らかの事々を考慮し、子供や働く若者が定住するような活気・将来性が磨ける場として(若者が目標とする術が学び育てる)他県より集まるような考案に期待したいです。(60代、生活関連サービス・娯楽、国道3号沿線以外)
- 西回り道完成後、湯の児・湯の鶴温泉地域に宿泊されたお客様が、水俣市内で食事・飲酒を希望された場合、タクシー代を半額以下の料金で利用できるようにする。タクシー代の不足分は水俣市の補助金で補う。湯の児も湯の鶴も市内から遠すぎる。みなくるバスの利用(無料)も考えていいと思う。(60代、飲食業、国道3号沿線以外)

7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと⑥ ※自由記述

- 地区以外への進出の積極的な展開、移住者へ行政からの金銭的支援、雇用の支援。(70代、建設業、国道3号沿線以外)
- 水俣IC-袋IC間の国道3号線の片側二車線化または、別ルート道路の設置による通行機能向上。(50代、製造業、国道3号沿線)
- エコパーク水俣を利活用して多彩な催しを開催し、流入人口を増加させ、かつ宿泊施設を増加させねば、単純に通過するだけの地域になるのではなかろうか。(60代、建設業、国道3号沿線)
- 観光施設、宿泊施設を増加させ、もっと地域にお金が落ちるよう、考えるべきだとおもいます。(40代、卸売業、国道3号沿線以外)
- 遠方からの集客が出来るよう魅力ある店、行楽地等々、中途半端でない何かがあればと思います。それと今はやっぱり発信力でしょうか。(60代、学術研究・専門・技術サービス、国道3号沿線)
- わからない。(50代、飲食業、国道3号沿線以外)
- 観光の推進、IC企業の誘致、水俣を大々的にネットで紹介する、体験型の観光や研修。(70代、医療・福祉、国道3号沿線以外)
- 若い人材の定着。子育て。まとまった土地の確保。企業・テナント誘致。空家問題。労働者の確保。人材不足。物価上昇に対する対応。(40代、不動産・物品賃貸業、国道3号沿線)
- 各事業者においては、田浦や芦北・津奈木の状況を認識し、自社事業を守るための取組を早期に開始する必要があると思う。容易に行政等に頼る考えを捨てて、自助努力の内容を考えるべきと思う。行政においては、流動人口・交流人口増加を図るための施策を立案し、観光面において新しい集客施設の整備に取り組む必要があると思う。(60代、小売業、国道3号沿線以外)
- 水俣IC・袋ICで降りてもらえるお店の存在、魅力的な街づくり、イベント、景観等、整備する必要があります。(60代、製造業、国道3号沿線)
- 水俣の観光地としてバラ園近辺を充実させ、色々な活動ができる施設になればよいのではないかと思います。(50代、医療・福祉、国道3号沿線以外)
- 長野・中鶴・深川地区辺りに半導体企業を誘致する。(水源確保と西回り道水俣IC、九州新幹線新水俣駅の近くだから。空港は無いが)、恋路島リゾート化計画、海と山のアクティビティの充実(ダイビング、ロッククライミング、パラシュート)(40代、卸売業、国道3号沿線以外)
- アイデア無し。(80代以上、不動産・物品賃貸業、国道3号沿線以外)
- 西回り道をおりて訪ねてみたくなる所を設けられたら良いと思います。(70代、医療・福祉、国道3号沿線以外)
- 観光資源の活用。(40代、医療・福祉、国道3号沿線)
- 土・日・祝日のイベントが必要。(60代、金融保険業、国道3号沿線以外)

## 7. 西回り道完成後の効果を得るために必要なこと⑦ ※自由記述

○市内の空き店舗や空き家を改築して（市が無料・無税で貸し出して）ミシュランの一つ星のシェフを招いて、外から水俣市に来てもらうようにする。三中跡地も活用すべき。

（60代、その他事業、国道3号沿線）

○水俣市の活性化、住人口の増加

水俣市地域の活性化⇒観光・スポーツ等の水俣市にある資源をフル活用し、新水俣駅や水俣ICに目的を持って来る人を増やす。

住人口の増加⇒雇用を生み若者が住みたい水俣を形成する。（30代、卸売業、国道3号沿線）

○企業誘致（TSMC関連等）、専門学校、大学など教育の面で日本一を目指す等。（50代、小売業、国道3号沿線以外）

○他地域での店舗数を増加させる。（30代、小売業、国道3号沿線）

○観光アクセスルート充実による観光活性化。（60代、小売業、国道3号沿線以外）

○素通りを防ぐために、インター付近にトイレを設置したパーキングを設置してみてもいいか。田浦や芦北は道の駅がインター付近に併設されているので、立ち寄る人も多いが、津奈木はインター付近に何も無いので、利用する人が少ないように思われる。（40代、製造業、国道3号沿線以外）

○特徴のあるイベント等を考えてみる。食に特徴を持った大きなイベントを考えてみる。（60代、飲食業、国道3号沿線）

○水俣市内観光地の再構築化、時代に沿ったイベントの検討等、異種とも思われる思い切った発想が必要な時代。他、地域との交流等を交えて、水俣市のカラーを変えていく位の感覚が必要なのでは…。人口流出の歯止めも必要とは思いますが、流動人口・交流人口を増やしていく方向を考えてみるのも、逆は正なり。（70代、建設業、国道3号沿線以外）

○人の呼べるイベントやお祭りを、若い人の力で新しい風を呼び込む。たとえば、エコパーク水俣の恋路島なども活用する。内海で波がおだやかである。それに向いたアウトドアスポーツや体験。（40代、生活関連サービス・娯楽、国道3号沿線以外）

○水俣IC出口から国道3号下りは2車線あるが、すぐ車線が減少するなど、市内道路の便利さ（走りやすさ）が改善すると更に良いのでは。

西回り道の料金は無料が望ましい。

水俣に立ち寄る理由（レジャー、農林水産業、工業、リサイクル事業など）となる産業を、複数の企業が連携して取り組める仕掛けづくり。（50代、製造業、国道3号沿線以外）

○袋IC供用開始予定日を知りたい。（70代、飲食業、国道3号沿線）

○各店舗の魅力アップ。（70代、不動産・物品賃貸業、国道3号沿線）

○1. 人口減少の歯止め、2. 観光地（湯の児、湯の鶴）の廃墟物件等の整備、3. 商業地⇒企業の誘致（60代、小売業、国道3号沿線以外）